



2022年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月13日

上場会社名 株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
 コード番号 6668 URL <https://www.adtec-rf.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森下 秀法

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務・経理部長 (氏名) 坂谷 和宏

TEL 084-945-1359

四半期報告書提出予定日 2022年7月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年8月期第3四半期の連結業績(2021年9月1日～2022年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期第3四半期	8,923	52.2	1,992	149.3	2,198	147.3	1,566	137.8
2021年8月期第3四半期	5,863	11.8	799	25.7	888	37.9	658	41.6

(注) 包括利益 2022年8月期第3四半期 1,830百万円 (158.5%) 2021年8月期第3四半期 708百万円 (56.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期第3四半期	182.63	
2021年8月期第3四半期	76.74	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年8月期第3四半期	18,040	8,397	46.5	977.25
2021年8月期	12,914	6,844	52.9	795.56

(参考) 自己資本 2022年8月期第3四半期 8,381百万円 2021年8月期 6,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年8月期		5.00		7.00	12.00
2022年8月期		6.00			
2022年8月期(予想)				8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2022年7月13日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2022年8月期の連結業績予想(2021年9月1日～2022年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,100	51.2	2,800	154.0	3,000	158.5	2,100	139.9	244.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2022年7月13日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年8月期3Q	8,586,000 株	2021年8月期	8,586,000 株
期末自己株式数	2022年8月期3Q	9,861 株	2021年8月期	2,141 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年8月期3Q	8,577,701 株	2021年8月期3Q	8,583,907 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不安定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11
3. その他	11
(1) 受注実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国及び世界経済は、新型コロナウイルス感染症の変異株による感染の再拡大があるものの、経済・社会活動の正常化へ向けた動きにより、緩やかながら回復基調で推移してまいりましたが、ロシア・ウクライナ情勢による資源価格上昇、中国のゼロコロナ政策による主要都市の閉鎖等を受け、世界的にインフレ圧力が強まり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、ファウンドリやロジックメーカーにおける先端投資が行われるとともに、中国の半導体内製化へ向けた投資が行われるなど、半導体関連の投資が堅調に推移いたしました。

当社等においては、堅調な受注環境の中、国内外における生産ラインの整備を進めたことにより、生産能力を拡大することはできましたが、世界的な半導体、樹脂材料等の不足による需給逼迫の影響により部材調達に遅延が生じ、部材の確保等に注力いたしました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、前第3四半期連結累計期間にあった大型案件はないものの、リピート品や小型案件を獲得するとともに、研究機関における定期点検等の保守サービスを確保したことにより、堅調に推移いたしました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高8,923,978千円（前年同期比52.2%増加）、営業利益1,992,921千円（前年同期比149.3%増加）、経常利益2,198,056千円（前年同期比147.3%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,566,567千円（前年同期比137.8%増加）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、売上高8,290,177千円（前年同期比72.3%増加）、営業利益1,904,260千円（前年同期比178.1%増加）となりました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、売上高633,801千円（前年同期比39.7%減少）、営業利益25,801千円（前年同期比72.2%減少）となりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、次のとおりであります。

単位：千円

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)
売上高	5,863,227	8,923,978
売上総利益	2,318,441	3,948,810
営業利益	799,351	1,992,921
経常利益	888,763	2,198,056
親会社株主に帰属する四半期純利益	658,748	1,566,567

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

単位：千円

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
半導体・液晶関連事業（当社等）	4,811,437	684,787	8,290,177	1,904,260
研究機関・大学関連事業（IDX）	1,051,789	92,728	633,801	25,801
合計	5,863,227	777,515	8,923,978	1,930,061

(注) 1. 売上高は、各セグメントの外部顧客に対する売上高を表しております。

2. 営業利益は、各セグメントの営業利益又は営業損失(△)を表しております。

(注) 文中表記について

(当社等)

当社、Adtec Technology, Inc.、Adtec Europe Limited、Phuc Son Technology Co., Ltd.、ADTEC Plasma Technology Korea Co., Ltd.、愛笛科技有限公司及び蘇州啐啄電子有限公司を表しております。

Hana Technology Co., Ltd. は、2022年6月2日付でADTEC Plasma Technology Korea Co., Ltd. に商号変更しております。

(IDX)

株式会社IDXを表しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は18,040,449千円であり、前連結会計年度末と比較して5,126,238千円増加しております。

これは、現金及び預金の増加(1,132,433千円)、仕掛品の増加(917,038千円)、原材料及び貯蔵品の増加(1,236,868千円)等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は9,643,308千円であり、前連結会計年度末と比較して3,573,511千円増加しております。

これは、買掛金の増加(307,197千円)、短期借入金の増加(1,050,000千円)、長期借入金の増加(1,494,182千円)等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は8,397,140千円であり、前連結会計年度末と比較して1,552,727千円増加しております。

これは、利益剰余金の増加(1,455,023千円)等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、連結業績予想について見直しを行っております。詳細につきましては、本日(2022年7月13日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,908,488	4,040,922
受取手形及び売掛金	1,957,687	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	2,541,051
製品	624,158	1,007,905
仕掛品	1,817,423	2,734,461
原材料及び貯蔵品	2,999,172	4,236,040
前払費用	60,041	81,511
未収入金	620,290	885,624
その他	16,522	25,788
流動資産合計	11,003,785	15,553,306
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,428,057	1,471,078
減価償却累計額	△752,299	△786,255
建物及び構築物(純額)	675,757	684,822
車両運搬具	43,505	46,776
減価償却累計額	△40,122	△42,866
車両運搬具(純額)	3,382	3,910
工具、器具及び備品	1,495,573	1,749,379
減価償却累計額	△969,115	△1,085,817
工具、器具及び備品(純額)	526,458	663,561
土地	236,519	236,519
使用権資産	164,753	181,163
減価償却累計額	△13,362	△18,185
使用権資産(純額)	151,390	162,978
建設仮勘定	—	331,918
有形固定資産合計	1,593,509	2,083,710
無形固定資産	181,259	179,566
投資その他の資産		
投資有価証券	1,400	1,400
繰延税金資産	65,734	139,504
その他	82,872	97,311
貸倒引当金	△14,350	△14,350
投資その他の資産合計	135,656	223,866
固定資産合計	1,910,425	2,487,142
資産合計	12,914,210	18,040,449

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	436,703	743,900
短期借入金	2,800,000	3,850,000
1年内返済予定の長期借入金	318,989	415,634
未払金	278,955	433,124
未払費用	108,054	186,629
未払法人税等	203,436	532,662
役員賞与引当金	—	44,250
その他	95,438	100,831
流動負債合計	4,241,577	6,307,033
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	1,196,326	2,690,508
繰延税金負債	4,958	14,419
退職給付に係る負債	29,753	31,614
資産除去債務	95,652	98,378
その他	1,528	1,355
固定負債合計	1,828,219	3,336,275
負債合計	6,069,797	9,643,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	835,598	835,598
資本剰余金	908,160	779,534
利益剰余金	5,122,864	6,577,887
自己株式	△605	△19,817
株主資本合計	6,866,017	8,173,203
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△37,042	207,820
その他の包括利益累計額合計	△37,042	207,820
非支配株主持分	15,438	16,117
純資産合計	6,844,413	8,397,140
負債純資産合計	12,914,210	18,040,449

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)
売上高	5,863,227	8,923,978
売上原価	3,544,786	4,975,167
売上総利益	2,318,441	3,948,810
販売費及び一般管理費	1,519,089	1,955,889
営業利益	799,351	1,992,921
営業外収益		
受取利息	460	715
為替差益	119,330	231,172
助成金収入	8,958	802
受取家賃	1,215	1,215
その他	5,983	3,987
営業外収益合計	135,948	237,892
営業外費用		
支払利息	22,038	28,326
社債発行費	16,539	—
その他	7,959	4,431
営業外費用合計	46,537	32,757
経常利益	888,763	2,198,056
特別損失		
投資有価証券評価損	1,340	—
特別損失合計	1,340	—
税金等調整前四半期純利益	887,423	2,198,056
法人税、住民税及び事業税	241,867	675,162
法人税等調整額	△29,839	△63,055
法人税等合計	212,028	612,106
四半期純利益	675,395	1,585,949
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,646	19,382
親会社株主に帰属する四半期純利益	658,748	1,566,567

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)
四半期純利益	675,395	1,585,949
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	32,782	244,862
その他の包括利益合計	32,782	244,862
四半期包括利益	708,178	1,830,812
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	691,531	1,811,430
非支配株主に係る四半期包括利益	16,646	19,382

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社IDXの株式を非支配株主から追加取得したこと等により、資本剰余金が128,626千円減少しております。

その結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が779,534千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、製品等の国内販売において、出荷時から当該製品等の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84号ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年9月1日 至2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大学 関連事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	4,811,437	1,051,789	5,863,227	—	5,863,227
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,846	4,983	16,829	△16,829	—
計	4,823,283	1,056,772	5,880,056	△16,829	5,863,227
セグメント利益	684,787	92,728	777,515	21,836	799,351

(注) 1. セグメント利益の調整額21,836千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2021年9月1日 至2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大学 関連事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
日本	3,955,081	633,801	4,588,882	—	4,588,882
アジア地域	2,948,258	—	2,948,258	—	2,948,258
米国	1,174,763	—	1,174,763	—	1,174,763
欧州	210,604	—	210,604	—	210,604
その他	1,469	—	1,469	—	1,469
顧客との契約から生 じる収益	8,290,177	633,801	8,923,978	—	8,923,978
外部顧客への売上高	8,290,177	633,801	8,923,978	—	8,923,978
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,263	10,667	13,931	△13,931	—
計	8,293,440	644,469	8,937,910	△13,931	8,923,978
セグメント利益	1,904,260	25,801	1,930,061	62,860	1,992,921

(注) 1. セグメント利益の調整額62,860千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「注記事項(会計方針の変更)」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

この結果、報告セグメントの売上高及び利益又は損失に与える影響はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

多額の資金の借入

当社は、2022年6月22日開催の取締役会において、資金の借入を行うことを決議いたしました。概要は次のとおりであります。

1. 目的

連結子会社Phuc Son Technology Co., Ltd.が行う設備投資の資金確保を目的としております。
当社は、金融機関から借入後、当該連結子会社に対し貸付を実行いたします。

2. 概要

- (1) 設備投資額 約20,000,000米ドル (日本円 約2,564百万円)
- (2) 借入予定金額 2,300~2,600百万円
- (3) 借入予定先 株式会社中国銀行、株式会社広島銀行
株式会社三菱UFJ銀行、株式会社商工組合中央金庫
- (4) 借入日 必要に応じて個別に融資を申込み実行
- (5) 借入金利 固定金利
- (6) 担保 なし

3. その他

(1) 受注実績

受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)			
	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
半導体・液晶関連事業	11,849	85.7	7,375	137.4
研究機関・大学関連事業	653	26.8	714	134.9
合計	12,503	81.3	8,089	137.2

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。